

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(6/7)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
つくば国際戦略総合特区 ～つくばにおける科学技術の集積を活用したライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進～ (茨城県等)	正	3.9	4.2  進捗度 ・産学官連携による新規プロジェクトの創出数 100%  ・次世代がん治療(BNCT)の商用型治療装置の普及施設の数 70%  ・市場に本格投入する生活支援ロボットの種類 400% 等	3.5  規制の特例等 ・搭乗型移動支援ロボットの規制緩和等  財政支援等 ・医工連携事業化推進事業等  地域独自の取組 ・生活支援ロボット普及促進事業 等	4.0	<p>・研究開発型のプロジェクトで成果を短期間で上げるのは難しいと考えられる。そのような状況の中で着実に実績を積み重ねている。</p> <p>・本地域には研究開発機関に集積があり、これらの相互連携が、大きな力を生むと期待されている。こうした相互連携を一つ一つ明示的に形成する取組が求められているのではないか。特に、省庁間の壁を如何に取り除くのかをより積極的に目的化して、実績を示す必要がある。</p> <p>・TIA-nanolにおける産官学連携事業規模の拡大も当初予定を上回る進捗があるなど着実な事業の推進が見て取れるが、一方で、藻類産炭化水素オイルについては最終年度まで極めて野心的な進展が必要であることが懸念される。</p> <p>・税制支援、金融支援については今後の進捗で取り組む予定となっているが、事業化のステージにつながっていないことが懸念となる。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。